

本会家族計画研究センター

2022年度事業実績報告

既報の通り日本家族計画協会は昨年10月をもって渋谷区幡ヶ谷に移転。家族計画研究センター・クリニックについては、本年10月末まで、市ヶ谷で相談事業と診療を継続することとしている。本会が主婦会館クリニック(四ツ谷)を開所したのは1978年10月、保健会館別館に「家族計画クリニック」を開設したのは84年5月、89年4月には、市谷クリニックが保険診療機関として認可され、現在の保健会館新館(リプロ・ヘルスセンター)での診療を97年11月に開始し、今日に至っている。本会が運営する診療施設は45年間をもってその役割を終えることになる。なお、各種相談事業や研修を中心とし

て取り組んでいる家族計画研究センターは渋谷区幡ヶ谷に住所を移して活動を継続する。今号では、2022年度も主として新宿区の住民を対象とした新型コロナウイルス・ワクチン接種施設としての役割、2年目に入った「思春期・FP相談LINE」、主として経口避妊薬(OC)と緊急避妊法(EC)をテーマに実施している電話相談事業の実績などを報告する。とともに、わが国のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利、SRHR)を巡る大きな出来事などを報告したい。(本会家族計画研究センター長 杉村由香理、本会会長 北村邦夫)

新宿区から委託された個別接種施設として、主として新宿区の住民を対象としてワクチン接種を続けている。接種日は、予約状況などを勘案しながら、診療日である火曜日、金曜日、第3土曜日などに限られるが、生後6か月から4歳まで46回、5歳から11歳23回、12歳以上346回、合計415回の接種を無事終了している。アナフィラキシーショックなどが発生した場合の緊急対応のための医療的な準備や紹介先の確保などを当然行っているが、幸いなことに接種開始以来特段救急を要する事例を経験していない。11月には6か月から4歳児への接種が

6か月から107歳まで、新型コロナウイルス・ワクチンを接種

新宿区から委託された個別接種施設として、主として新宿区の住民を対象としてワクチン接種を続けている。接種日は、予約状況などを勘案しながら、診療日である火曜日、金曜日、第3土曜日などに限られるが、生後6か月から4歳まで46回、5歳から11歳23回、12歳以上346回、合計415回の接種を無事終了している。アナフィラキシーショックなどが発生した場合の緊急対応のための医療的な準備や紹介先の確保などを当然行っているが、幸いなことに接種開始以来特段救急を要する事例を経験していない。11月には6か月から4歳児への接種が

の来所に際して、父親の姿が目立つことだ。父親の育児参加の一端が垣間見えるように時代の変化を感じ取る瞬間でもあった。新宿区から届けられるワクチンを冷蔵庫から取り出す。小さな

極力回避すべく努めてきたが、第8波が収束する頃になると接種希望者数が激減。わが国のワクチン接種は、今後どうなっていくのだろうか。

1979年9月から開設してきた「思春期・FP(家族計画)ホットライン」を休止し、一昨年の4月からLINE相談をスタートさせてから丸2年が経過した(図1)。相談員にとって

電話相談とLINE相談、その特徴の違いは？

手探りで始まった一昨年度のLINE相談に比べて、相談員の対応も大分慣れてきたこともあり、2022年度の電話相談と22年度のLINE相談との比較を試みた。電話相談についても同様だが、LINE相談では「なりすまし」なども想定され、特に性別や年齢などについては極めて信ぴょう性が低い可能性のあることを踏まえた読み解きが必要になるかも知れない。

①質問曜日：日曜日(41件)、月曜日(107件)、火曜日(87件)、水曜日(83件)、木曜日(105件)、金曜日(85件)、土曜日(39件)で、電話相談とは異なり、いつでも相談を送れるメリットがある。回答は、月曜日が最も早く、日曜日が最も遅い。

②年齢：15歳以下が339件で最多、次いで10歳以下128件、20歳以下66件で、20歳未満が全体の85.9%(男性86.6%、女性85.6%)を占めている。

③LINE相談をどこで知ったか：インターネットからの回答は男性344件と最多、次

163件で最多。②未婚の別：未婚が285件で99.3%を占める。③職業：高校生(209件)、中学生(155件)、大学生(90件)、社会人(25件)、小学生(24件)の順。仮に親が電話をかけてきても、「小学生」に関する悩み相談では、「小学生」に分類される。

④年齢：15歳以下が339件で最多、次いで10歳以下128件、20歳以下66件で、20歳未満が全体の85.9%(男性86.6%、女性85.6%)を占めている。

⑤LINE相談をどこで知ったか：インターネットからの回答は男性344件と最多、次

⑥相談者は本人が52件、その他42件。『#つと大差がなかった。⑦LINE相談での性別にみた相談内容を表1

⑧電話に比べてLINE Eでは、「インターネット」を情報源としている割合が少ない(電話94.2%、LINE3.7%、一方、「学校」「#」つながらず「BOOK」から7.9%(電話1.0%)と目立っている。

⑨電話に比べてLINE Eでは、「インターネット」を情報源としている割合が少ない(電話94.2%、LINE3.7%、一方、「学校」「#」つながらず「BOOK」から7.9%(電話1.0%)と目立っている。

⑩電話に比べてLINE Eでは、「インターネット」を情報源としている割合が少ない(電話94.2%、LINE3.7%、一方、「学校」「#」つながらず「BOOK」から7.9%(電話1.0%)と目立っている。

LINE相談を始めて気付いたことがあります。文字で伝えることの難しさ、既読が付かないもどかしさを双方で感じた時や、受診の後押しが必要な場合など、相談員は直接話せたら、1分もかからないのにと、やきもきしています。耳に残る性的通話や無言電話のストレスからは解放されたものの、電話とLINEそれぞれに使い方、生かし方があるのかもしれない。

思春期・FP相談LINE

LINE相談やってます!

Line ID @183xqhfs

アカウント名「JFPA思春期・FP相談LINE」

※アカウント名で検索してもできません。
 ※マークから始まるIDで検索するかQRコードを読み取ってください。
 回答時間：月～金/10:00～16:00(祝祭日は休み)

思春期の体についての心配ごとをお寄せください。質問には専門の相談員が、平日の10時～16時の間に到着順に回答します。



※症状がある場合や急い場合は、医療機関で受診してください
 ※個々の症例について診断はできませんのでご注意ください
 ※本LINE相談については個人が特定できないよう十分に配慮した上で、集計分析し本会機関紙などで報告させていただくことがあります。

図1 思春期・FP相談LINEの利用案内

表1 LINE相談に寄せられた相談主訴(性別)

	男性		女性	
	件数	割合	件数	割合
合計	194	100.0%	353	100.0%
自慰	41	21.1%	47	13.3%
性器	25	12.9%	42	11.9%
包茎	22	11.3%	41	11.6%
妊娠不安	14	7.2%	32	9.1%
性交	12	6.2%	22	6.2%
射精	9	4.6%	20	5.7%
性欲	8	4.1%	17	4.8%
緊急避妊	7	3.6%	17	4.8%
二次性徴	6	3.1%	13	3.7%
避妊	5	2.6%	11	3.1%
精神・心	4	2.1%	11	3.1%
不明	4	2.1%	9	2.5%
妊娠	3	1.5%	6	1.7%
問題行動	3	1.5%	5	1.4%
STD	2	1.0%	3	0.8%
病気	2	1.0%	2	0.6%
男女交際	2	1.0%	1	0.3%
ピル	2	1.0%	1	0.3%
中絶	0	0.0%	0	0.0%
不妊	0	0.0%	0	0.0%
近親姦	0	0.0%	0	0.0%
夫婦問題	0	0.0%	0	0.0%
その他性知識	9	4.6%	21	5.9%
その他	14	7.2%	32	9.1%

「東京都不妊・不育ホットライン」開設時間を増設

1996年度から東京都が開始した「生涯を通じて女性の健康支援事業」の一環として、本会が受託した「東京都不妊ホットライン」(現在は「東京都不妊・不育ホットライン」)の開設時間を増設した。

①開設日数は1年間で61日。相談件数は532件(不妊相談466件、不育相談は66件) ②性別・男性79件、女性453件。最近では男性からの相談が増加傾向にある。 ③相談内容のあらましを表に示した。相談を受けた相談員の判断で、複数の項目にチェックが入ることがあるが、不妊相談では「検査・治療について」が最多で169件、次いで「家族に関すること」146件が続く。不育相談は「検査・治療について」34件、「不妊治療と仕事の両立について」27件となっている。

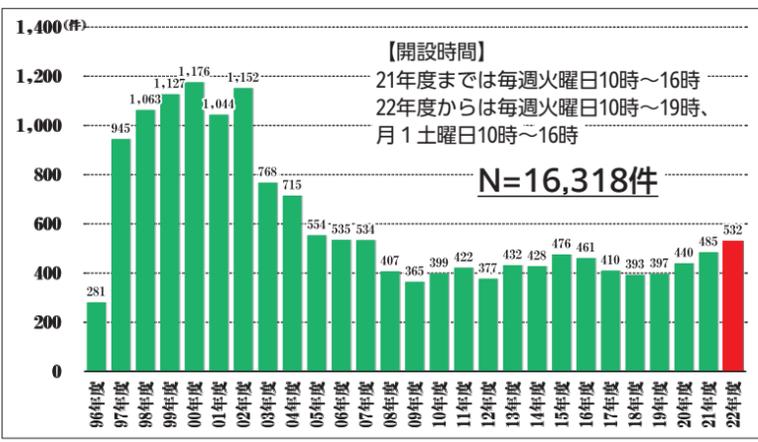


図2 『東京都不妊・不育ホットライン』相談件数の年度別推移 (1997年1月～2023年3月末)

表2

Table with 2 main sections: <不妊相談> and <不育相談>. Each section has a table with columns for months (April to March) and a total column. Rows include metrics like '開設日数', '相談人数', '相談延件数', '不妊の原因', '検査・治療について', etc.

2022年度、東京都の依頼によって、不妊・不育ホットラインカウンセラーによる「相談エッセイ」が連載された。これは、東京都福祉保健局「妊活課」妊活支援ポータルサイト(https://www.ninkatsuka.metro.tokyo.lg.jp)に掲載されたもので、実際に電話相談に応じている女性カウンセラーによるエッセイという形式であり、一読の価値がある。都民からの高い評価を得ているとともに、このエッセイを届けた方からの「エッセイ」の各回タイトル

エピソード・4

「東京都不妊・不育ホットライン」は圧倒的に女性の利用が多いのですが、ここ最近、男性からの相談も散見されるようになりました。周囲との人間関係、治療への迷いなど、相談項目どれをとっても必ずしも女性特有ではないのかもしれませんが、いずれにせよ当事者を孤立させないことは欠かせない支援であり、その一助を担えることはホットラインの誇りでもあります。

エピソード・5

テーマを「女性活躍を応援する」と銘打ったものの、「活躍」の定義をお示ししないままスタートしたSRHセミナー。回を重ねながら答えを探していたように思います。女性特有の体や、社会の慣習で何かを諦めることがない社会の実現を願いつつ、全国を行脚いたしました。「自分が輝いている!と自分で思えること」私が抱く活躍の姿です。

6位。政

わが国のSRHRが大きく変わろうとしている。本センターでは、ECのOTC化を審議する第20回医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議(2023年4月28日)に、本会ク

13年6月に積極的接種勧奨が控えられてから9年。HPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)については22年4月から積極的接種勧奨が再開された。定期接種の機会を

【第1回】不妊・不育は繊細な喪失体験。心へのいたわり、大切です。 【第2回】治療への初めの一歩「医療機関探しについて」 【第3回】不妊治療と仕事との両立「仕事を続けたい自分自身を大切に(最終回)」

【第4回】夫婦が試される時「不妊というハードル 【第5回】声を上げにくい「2人目不妊」 【第6回】不妊・不育に絡めとられないで、あなた自身を大切に(最終回)」

家族計画研究センターが主導しているセミナーには全国の産婦人科医とクリニック・スタッフを対象とした「女性医療セミナー」、避妊教育ネットワーク会員向けの「女性保健医療セミナー」、OCが承認発売された1999年から継続開催しているSRHセミナーなどがあ

「GGGI」については、GGGIは単なる一つの指標に過ぎず、

そのランキングに一喜一憂するのはいかがなものでしょうか。日本の順位が低いのは、女性の政治参加が進まないからであって、他の側面(教育や健康)に関しては、かなりの上位に位置しています。使われているデータ、ウエイトの掛け方の

結論を急げば、23年4月28日に製造販売が承認されたのだ。21年12月に英製薬会社ラインファーマが開発した中絶薬「メフィロゴバック」について承認を申請。以降、紆余曲折を経て承認へと漕ぎ着けることができた。今後、この薬剤をどう扱っていくのか。日本人はこれを受け入れていくのか。課題は山積している。

表3

Table titled '表3 「2022年度EC・OCヘルプデスク」年代別の相談内容上位10項目'. It shows percentages for various consultation topics across different age groups (Total, Under 20, 20-24, 25-29, 30-34, 35-39, 40-44).

「EC・OCヘルプデスク」、相談件数はやや低調

富士製薬工業(株)から委託された「EC(緊急避妊薬)・OC(低用量経口避妊薬)ヘルプデスク」(03-6280-840)を2014年7月から開設しており、22年3月までに678件の相談が寄せられている。22年度の概要を以下にまとめた(表3)。

24歳86件、30歳79件、35歳54件、40歳37歳54代と30歳代で全体の81.7%を占め、わが国におけるOC服用者の主たる年齢がこの世代であることが物語る。 ③年代別の相談内容について表3にまとめた。

指導者のための避妊と性感感染症 予防セミナー(SRHセミナー)を全国8会場で開催

たい。幸運なことに、参加者からの感染報告は事務局宛に届いてはいない。2022年度のSRHセミナーは、第179回(186回)を開催。「女性活躍を応援する」をメインテーマに、「女性活躍を阻害する要因とは何か?」「女性活躍を可能にする女性ホルモン製剤」「女性活躍を応援する性教育の実践」の3つのセッションを通じて「女性活躍とは何か?」について深く考えさせられることになった。22年の日本のグローバル・ジェンダーギャップ指数(GGI)は、世界146カ国中116位。政治、教育、健康、経済を総合的に評価したものであるが、30年近く国際機関での勤務経験のある講師からは次のような意見が寄せられた。

本に帰国して、日本人とはつくづく、自虐的に自分たちを捉えることが好きな民族だと感じます。すみません。あくまで私見です」

わが国のSRHRが大きく変わろうとしている

本センターでは、ECのOTC化を審議する第20回医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議(2023年4月28日)に、本会ク

13年6月に積極的接種勧奨が控えられてから9年。HPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)については22年4月から積極的接種勧奨が再開された。定期接種の機会を

職域保健の現場から

55

株式会社資生堂 人財本部人財企画室 岸 美代子
ウェルネスサポートグループ

(株)資生堂での産業保健活動

本連載では、職域保健の現場で活躍されている方に様々な取り組みをご紹介しています。今回は、株式会社資生堂本社の人財管理部門にて労働衛生活動、産業保健活動に携わっている、岸美代子さんに、新型コロナウイルス感染症流行下の職域保健、女性の健康施策、今後の活動などについてご紹介いただきます。

(編集部)

には、本社、販売、研究所、生産技術等々多数の事業部門がありますが、私は主に夕留にある本社部門(従業員約1300名)を担当しています。資生堂では、「資生堂ハ

イブリッドワークスタイル」と題して、主にオフィスワーカー向けの施策として、オフィスとリモートのそれぞれの良さを活用する働き方を導入しています。

入社当時はコロナ禍といこともあり、多くの本社従業員はフルリモートでした。入社式を含む社内各種会議や研修は、全てオンラインで、健康管理部門の健康相談や復職面談なども、ほとんど全てオンラインを活用して行っていました。入社間もなくして印象的だったことは、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の実施です。急遽プロジェクトが立ち上がり、健康管理部門が主体となり、実施に向けた運用がスタートしました。

今年3月にハイブリッド開催した女性役員による更年期トクイイベントは、トップマネージャーが身近な健康に関する話題をオープンに話すことで、役員と従業員、また参加者同士の交流の機会にもなり大変好評でした。次回7月、10月とイベントを開催予定です。

また男性従業員の参加が少なく、性別・役職問わずより多くの従業員に参加してもらえらる仕掛けや、管理職対象へのアプローチを現在検討中です。

今後に向けて、弊社グループの従業員構成は、平均年齢が約41歳、8割以上が女性です。過去には、産業界や婦人科専門医によるオンラインセミナーなども実施しましたが、継続的・体系的な取り組みができておらず、単発的な情報提供で終了してしまいました。昨年、実態把握と課題抽出等、現状の見直しと検討を重ね、23年から3か年計画で、1年間を通して一つのテーマを重点的に取り上げ、従業員のヘルスリテラシー向上等に取組みました。

部婦人科専門医によるセミナーに加え、女性役員によるトクイイベントの開催、また、相談窓口周知の一環として健康管理部門のマスクトキヤラクターを作成し、啓発活動を行っています。

今年3月にハイブリッド開催した女性役員による更年期トクイイベントは、トップマネージャーが身近な健康に関する話題をオープンに話すことで、役員と従業員、また参加者同士の交流の機会にもなり大変好評でした。次回7月、10月とイベントを開催予定です。

また男性従業員の参加が少なく、性別・役職問わずより多くの従業員に参加してもらえらる仕掛けや、管理職対象へのアプローチを現在検討中です。

「資生堂は、日本を代表する化粧品メーカーです。1872年に創業し、昨年150周年を迎えました。現在国内で約2万4000人(グループ会社連結)、世界で約4万8000人の従業員が活躍しています。『BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD (美の力でよりよい世界を)』を企業使命に掲げ、日本のグローバルビューティーカンパニーを目指し、美を通じて世界中の人々の心と身体に活力と希望を与え、持続可能な社会の実現への貢献に取り組んでいます。

職域接種の実施
私は、2021年4月にキャリア採用で入社しました。資生堂グループ

種運営等々、通常の産業保健業務を行いつながりの実施は、想像以上に膨大な工程を要しました。途中、報道にもあったワクチンの異物混入によるリスク対応などもありましたが、全国6会場にて、約2万人の方々に接種を実施しました。関係者一人丸となって実施した職域接種は、多くの従業員やご家族、接種会場近隣の他企業の従業員の方々にご利用いただき、この取り組みは社内でも評価され、22年に社長賞を受賞しました。

女性の健康施策
弊社グループの従業員構成は、平均年齢が約41歳、8割以上が女性です。過去には、産業界や婦人科専門医によるオンラインセミナーなども実施しましたが、継続的・体系的な取り組みができておらず、単発的な情報提供で終了してしまいました。昨年、実態把握と課題抽出等、現状の見直しと検討を重ね、23年から3か年計画で、1年間を通して一つのテーマを重点的に取り上げ、従業員のヘルスリテラシー向上等に取組みました。

今年3月にハイブリッド開催した女性役員による更年期トクイイベントは、トップマネージャーが身近な健康に関する話題をオープンに話すことで、役員と従業員、また参加者同士の交流の機会にもなり大変好評でした。次回7月、10月とイベントを開催予定です。

また男性従業員の参加が少なく、性別・役職問わずより多くの従業員に参加してもらえらる仕掛けや、管理職対象へのアプローチを現在検討中です。

今後に向けて、弊社グループの従業員構成は、平均年齢が約41歳、8割以上が女性です。過去には、産業界や婦人科専門医によるオンラインセミナーなども実施しましたが、継続的・体系的な取り組みができておらず、単発的な情報提供で終了してしまいました。昨年、実態把握と課題抽出等、現状の見直しと検討を重ね、23年から3か年計画で、1年間を通して一つのテーマを重点的に取り上げ、従業員のヘルスリテラシー向上等に取組みました。

今年3月にハイブリッド開催した女性役員による更年期トクイイベントは、トップマネージャーが身近な健康に関する話題をオープンに話すことで、役員と従業員、また参加者同士の交流の機会にもなり大変好評でした。次回7月、10月とイベントを開催予定です。

また男性従業員の参加が少なく、性別・役職問わずより多くの従業員に参加してもらえらる仕掛けや、管理職対象へのアプローチを現在検討中です。

機関紙「家族と健康」WEB版 第830号～832号 (2023年5月号～7月号)

掲載記事一覧

第830号 (2023年5月1日発行)

- OC/LEPが私の医師人生をどう変えたか (33)
OC/LEPは私の道標 (勤医協札幌病院産婦人科 西岡利泰)
- ピル承認秘話-わが国のピル承認がこれほど遅れた本当の理由(わけ)- (第62話) ピルが環境を破壊する?
- 市谷クリニックへようこそ!
(東京都不妊・不育ホットライン相談員 赤城恵子)
- 【海外情報クリップ】 経口避妊薬とオンライン診療-英国
- 経口人工妊娠中絶薬、5月正式承認へ-厚労省
- 世界人口白書2023-80億人の命、無限の可能性: 権利と選択の実現に向けて

第831号 (2023年6月1日発行)

- 本会家族計画研究センター2022年度事業実績報告
- OC/LEPが私の医師人生をどう変えたか (34)
自分と向き合うための手助けとなるOC/LEP
(津軽保健生活協同組合健康病院副院長 齋藤美貴)
- ピル承認秘話-わが国のピル承認がこれほど遅れた本当の理由(わけ)- (第63話) 「ピルが環境を破壊する?」への反論
- 【インタビュー】 YELL~エール~ (1)
(静岡県・薬剤師/JFPA思春期保健相談士® 船津裕子)
- 市谷クリニックへようこそ!
(思春期・FP相談LINE/EC・OCヘルプデスク相談員 来田美鈴)
- 【海外情報クリップ】 思春期のセックスレスが進むアメリカ
- 緊急避妊薬、今夏にも一部薬局で試験的販売へ-厚労省

第832号 (2023年7月1日発行)

- 職域保健の現場から (55) (株)資生堂での産業保健活動
(株式会社資生堂人財本部人財企画室ウェルネスサポートグループ 岸美代子)
- OC/LEPが私の医師人生をどう変えたか (35)
診療現場ではないところでの活動の大切さを知る
(医療法人赤崎クリニック理事長 赤崎正佳)
- ピル承認秘話-わが国のピル承認がこれほど遅れた本当の理由(わけ)- (第64話) 武田氏のピル悪玉説にもの申す
- 市谷クリニックへようこそ!
(思春期・FP相談LINE/EC・OCヘルプデスク相談員 東亜紀)
- 【海外情報クリップ】
薬局での緊急避妊薬の提供とコンサルテーション-英国 ほか

トピック

8月以降も オンライン診療 届出により可能

2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類感染症へ変更し、これに伴い、コロナ禍の限定的・特例的措置として設けられていたオンライン診療(非対面診療)の診療報酬は、7月31日をもって終了する。(3月31日厚労省事務連絡) これにより、全医療機関が22年度診療報酬に基づき診療を実施することとなるが、23年8月以降もオンライン診療を行う場合は、同7月31日までに「情報通信機器を用いた診療に係る施設基準」を満たしていることを地方厚生局へ届け出ることによってオンラインでの初診・再診が可能となる。

骨盤底筋シャキッ!

骨盤底筋 サポートグッズ

トコサポート

ゆるんだ骨盤底筋を支え、寄せ上げるアイテム

- トコちゃんベルトにつけるだけ!
- 伸縮性があり、体に程よくフィットするから筋肉を意識しやすい
- 蒸れにくく、サラッとした肌触り

トコちゃんベルトII

妊娠初期～産後ずっと使える骨盤ベルト

トコサポート モニター様の声

- トイレに間に合わず、パッドを愛用していましたが、毎日使ったところ少しずつ間に合うようになりました!
- びたっとフィットして体の安定感が増した感じがします。

医療従事者向け オンライン講習会

骨盤ケアを指導するための基本的な理論・実習から専門的な知識までステップごとに学べる講習会です。

受講料 3,000円(税込)～

※実習に必要な物品も販売しています

「健やか親子21」 応援メンバーです

骨盤ケアとマタニティ&ベビーケア用品 トコちゃんベルトの青葉